専門教育科目　講義科目

科目名：	FPのためのライフプランニングと資金計画	科目コード	EH56
		単位	2
科目主査： 佐藤 益弘	担当講師： 佐藤 益弘	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☐ あり ☑ なし

ライフプランニングとは、生涯にわたって自分と家族の生活を設計することです。
本科目では、まず、教育、住宅、老後といった人生でお金の掛かる局面～三大資金計画について、ローンを含めた課題とその適切な対応について学習します。さらにリタイアメントプラン（退職後の生活設計）の考え方を認識し、医療、介護、年金等の社会保険・公的年金制度と、それを補完する私的年金制度の仕組みについても理解を深めます。時事問題を中心にお伝えする予定です。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	日々のニュースの中で「教育」「住宅」「社会保険（社会保障）」に関わると時事問題に注目しておいてください。 また、テキストは完全に理解できなくとも、専門用語等に慣れるため、一読しておいてください。	
テキスト	ファイナンシャルプランナー基本テキスト『ライフプランニングと資金計画』 ＴＡＣ, 最新版	

この科目の 到達目標	①ライフプラン作成のための手法（ライフイベント表・個人バランスシート・キャッシュフロー表）について理解し、作成できる。 ②人生の三大支出（教育資金・住宅資金・セカンドライフ）に関する問題点の把握と解決策の提案ができる。 ③社会保険（公的医療保険＆介護保険、年金制度、労働保険）に関する基本的な仕組みを理解し、説明できる。
成績評価 の 方 法	1日目の課題および2日目の最終試験で評価します。きちんと授業を聞くようにしましょう。 休み時間後の遅刻は、減点の対象とします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	・社会が多様化複雑化する中で、講義で得た知識を実生活で活かせるよう、今後も継続的に新聞やインターネットで情報収集に努めてください。 ・またFP技能検定試験も、是非受験してください。 ・東京FP学生会や通教校友会などを通じて、切磋琢磨されることも有用です。
事後学習の 参考文献	昨今の情勢や最新の話題を入手するには、日本経済新聞や日本FP協会のHPの参照をお薦めます。状況だけでなく、その背景なども理解することは非常に大切です。資格試験受験のための教材については、WEBで過去問を確認し、不明な点はテキストなどと照らし合わせ確認するようにしてください。

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑電卓 ☑カメラ・マイクは必須となります。